

## 赤い青春18きっぷ（常備券）とは？

この文章を読んでいる人の中で、青春18きっぷにはものすごくお世話になっていても、赤い青春18きっぷ（以下、赤券）がどんなものであるか知らない人も多いだろう。ここではそんな赤券と普通の18きっぷ（以下、マルス券）の違いを照らし合わせながら、奥の深い赤券の世界を皆さんにお見せしよう。

＜赤い青春18きっぷとマルス券の違い＞  
値段、効力、使いかた→変わらない

### ①色

マルス券は青だが、赤券はその名の通り赤。

### ②大きさ

赤券はマルス券の1.3倍もの大きさ（縦7.3cm×横13cm）がある。そのためJR東日本のチケットホルダーには入らない。

### ③インクの付きやすさ

マルス券は表面がつるつるしているから、下車印のインクがうまく付かない。それに対し赤券は、インクが付きやすく長期間の保存が可能である。

### ④レア度

マルス券はいくらでも発券が可能である。しかし、赤券はJR西日本とJR四国の駅のうち、一部の限られた駅で前もって決められた数しか売られていない。現在通信販売は行われていない。基本的にはJR西日本・四国管内でみどりの窓口がなく、業務委託駅である駅で売られているが、一部例外（予讃線の高松など）もある。発売駅は以下の通りである。

**JR 西日本**：北陸本線の一部、高松（七尾線）、戸出（城端線）、九頭竜湖（越美北線）、有年（山陽本線）、大住（片町線）、西相生、坂越（赤穂線）、湖西線の一部、厄神、粟生（加古川線）、草津線の一部、奈良線の一部、吉野口（和歌山線）、東佐野（阪和線）、山陰本線の一部、仁豊野（播但線）、石見川本（三江線）

**JR 四国**：高松、端岡、高瀬、伊予市（予讃線）、引田、板野、勝瑞、佐古（高德線）、石井、鴨島（徳島線）、南小松島、羽ノ浦、牟岐（牟岐線）、旭、伊野、佐川（土讃線）

※発売駅の情報ネットの掲示板が根拠となっているため、必ずしも正しいとは限らない。  
JRが予告なしに突然発売を中止する場合もあるため、買う際には注意が必要だ。

